キャリア発達を促す学習指導のための

― 小学部高学年に向けた ―

指導ガイド

～生活単元学習編～

茨城県立鹿島特別支援学校
教諭　菊池　智

～ CONTENTS ～

1 指導ガイドの活用にあたって

2 キャリア発達を促す学習指導

3 キャリア発達を促す学習プログラムの枠組み（試案）

4 育てたい力を明確にする手順

5 育てたい力の柔軟な捉え方

6 学習指導略案の見方

7 振り返り用教材「かしまノート」

8 学習指導略案集

学習指導略案集及び参考教材

単元 1 お楽しみ会をしよう（5年生）

単元 2 6年生に向けて（5年生）

単元 3 中学生に向けて（6年生）

単元 4 働くことについて知ろう（6年生）

参考教材

ワークシート，パワーポイント教材等

職員研修用資料

1　指導ガイドの活用にあたって

ステップ１～５を基に，児童のキャリア発達を促すために，共通理解を深めた学習指導を目指しましょう！！

個に応じた
キャリア発達を促す

ステップ　1

『２　キャリア発達を促す学習指導』を基に，キャリア発達を促す学習指導を実践する**手順**の確認を！

ステップ　2

『２　キャリア発達を促す学習指導』を基に，キャリア発達を促す学習指導の**ポイント**の共通理解を！

ステップ　3

『３　キャリア発達を促す学習プログラムの枠組み（試案）』を基に，キャリアの観点とその具体的な内容の確認を！

ステップ　4

『５　育てたい力の柔軟な捉え方』を基に，学習活動のねらいは，児童の実態によって様々な捉え方ができることの確認を！

ステップ　5

『６　学習指導略案の見方』を基に，学習指導略案の記載内容や使用方法について確認し，実践へ！

個に応じるための段階別支援の捉え

A	全面的に援助を必要とする児童
B	部分的に援助を必要とする児童
C	活動を見通し，一人で取り組む児童

2 キャリア発達を促す学習指導

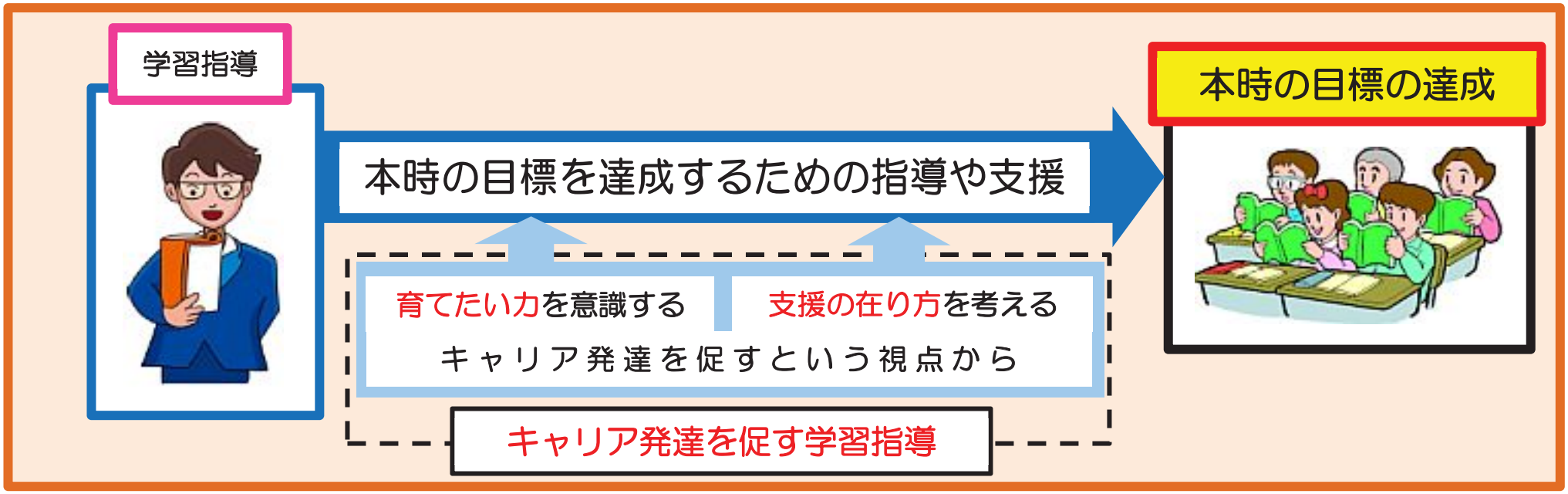
特別支援教育は，障害のある幼児児童生徒の自立と社会参加を目指し，適切な指導及び必要な支援を行っています。キャリア教育は，「一人一人の社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して，キャリア発達を促す教育」と定義されています。特別支援教育とキャリア教育の間には，共通した理念があると考えられます。

キャリア発達を促す学習指導の手順

まず，これまでの学習活動を見直し，ねらいを確認する必要があります。次に，学習活動のねらいと**キャリア発達を促す学習プログラムの枠組み（試案）**を照らし合わせることで，活動に含まれるキャリアの観点を基に育てたい力を明確にします。そして，育てたい力を意識した指導や支援を行うことで，キャリア発達を促す学習指導の実践が可能になると考えます。なお，学習活動の中には，**キャリアの観点が含まれないこともある**ので，無理に関連付ける必要はありません。

キャリア発達を促す学習指導のポイント

これまでの学習指導を基にして，キャリア発達を促すという視点から**育てたい力を意識**したり，**支援の在り方**を考えたりすることです。



※　キャリア教育の定義：中央教育審議会「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について（答申）」より

3 キャリア発達を促す学習プログラムの枠組み（試案）

県立鹿島特別支援学校小学部高学年におけるキャリア発達を促す学習プログラムの枠組み（試案）

能力領域【定義】「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」より		グランドデザイン	学部経営案	小学部高学年における捉え	学年経営案	キャリア発達を促す4つの視点	小学部高学年段階において育てたい力（キャリアの観点）
人間関係形成・社会形成能力	多様な他者の考えや立場を理解し，相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに，自分の置かれている状況を受け止め，役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し，今後の社会を積極的に形成することができる力	一人一人のよさや可能性を最大限に伸ばし，地域社会の中でたくましく生きていくための力を培う	生活経験の拡大を図り，社会にかかわろうとする態度を育成する	集団における自分の役割を理解して友達と協力して活動するとともに，状況に応じた適切な言動ができる力	人とのかかわり コミュニケーションスキルの獲得 基本的生活習慣の定着	かかわる	かかわり 他者理解 模倣，指示理解，友達のよさへの気付き，感謝の気持ち 集団参加 協力・共同 大人や友達とのやりとりや集団活動への参加，集団における役割の理解と協力 意思表現 日常生活に必要な意思の表現 挨拶・清潔・身だしなみ 場に応じた言動 挨拶，身だしなみの習慣化（基本的生活習慣の定着），言葉遣い
自己理解・自己管理能力	自分が『できること』『意義を感じること』『したいこと』について，社会との相互関係を保ちつつ，今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に，自らの思考や感情を律し，かつ，今後の成長のために進んで学ぼうとする力			自分自身への理解が深まり，自信をもって主体的に行動できる力	心の安定 主体的な行動 高学年としての意識	する	自分への気付き 主体性，好きなもの，得意なこと，自分らしさ，セルフコントロール
課題対応能力	仕事をする上での様々な課題を発見・分析し，適切な計画を立ててその課題を処理し，解決することができる力			自分の仕事に責任をもってやり通そうとするとともに，自己の体験を振り返ってその後の学習や生活に生かそうとする力	体力の向上 自立への意識	いかす	目標達成 目標への意識，最後までやり通す意欲・態度，活動への見通し，計画・実行 振り返り 肯定的な自己評価 活動の振り返り 習慣形成 家庭及び学校生活に必要な習慣づくり，健康の維持（体力の向上，病気の予防） 様々な情報への関心 情報収集と活用 仕事，働く人など身の回りの様々な環境への関心，手がかりの活用，情報収集
キャリアプランニング能力	『働くこと』の意義を理解し，自らが果たすべき様々な立場や役割との関連を踏まえて『働くこと』を位置付け，多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら，自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力			働くことや多様な職業の存在について知るとともに，将来的な職業生活を送るために必要な習慣を形成したり，決まりを遵守したりすることができる力	簡単な善悪の判断 約束や決まりの遵守	つなげる	自己選択 自己選択（決定・責任） 選択，決定 はたらくよろこび 役割の理解と働くことの意義 自分が果たす役割の理解と実行 夢や希望 働くことへの関心，将来の夢や職業への憧れ 社会資源の活用とマナー 法や制度の活用 地域社会資源の活用，身近な決まり，マナーの理解（交通，公共施設など） 金銭の扱い 金銭の使い方と管理 体験を通した金銭の大切さの理解（買い物学習） やりがい 生きがい・やりがい 意欲的な活動への取組

※キャリアの観点の上部に重なっている帯は，中学部以降の発展的な観点を示す。

4 育てたい力を明確にする手順

キャリア発達を促す学習プログラムの枠組み（試案）との照らし合わせ

学習活動のねらいとキャリア発達を促す学習プログラムの枠組み（試案）（以下：枠組み）を照らし合わせることで，学習活動のねらいとキャリアの観点との関連性を整理し，育てたい力を明確にすることができます。
このページでは，『照らし合わせる』方法について，具体例（『着替えの学習』）を基に説明します。

1

『着替え』の授業で，Aさんの「学習活動のねらい」を，自分の着てみたい洋服を「選んで，決める」にしよう！

でも，「選んで，決める」ことって，将来的にどのような力につながっていくのかなぁ。

2

そんな時，枠組みの出番です！

学習活動のねらいと，枠組みに示されているキャリア発達を促す４つの各視点におけるキャリアの観点を照らし合わせることで，育てたい力が明確になります。

服を選んで決める

照らし合わせ

3

服を選んで決める

自己選択

選択，決定

4

今度の『着替え』の授業では，Aさんの将来に向けて，育てたい力を，「自分で選択して，決定する力」にしよう！

う～ん，どれどれ・・・。
あれっ！視点の「つなげる」のキャリアの観点「自己選択」に，『選択，決定』という項目があるわね。

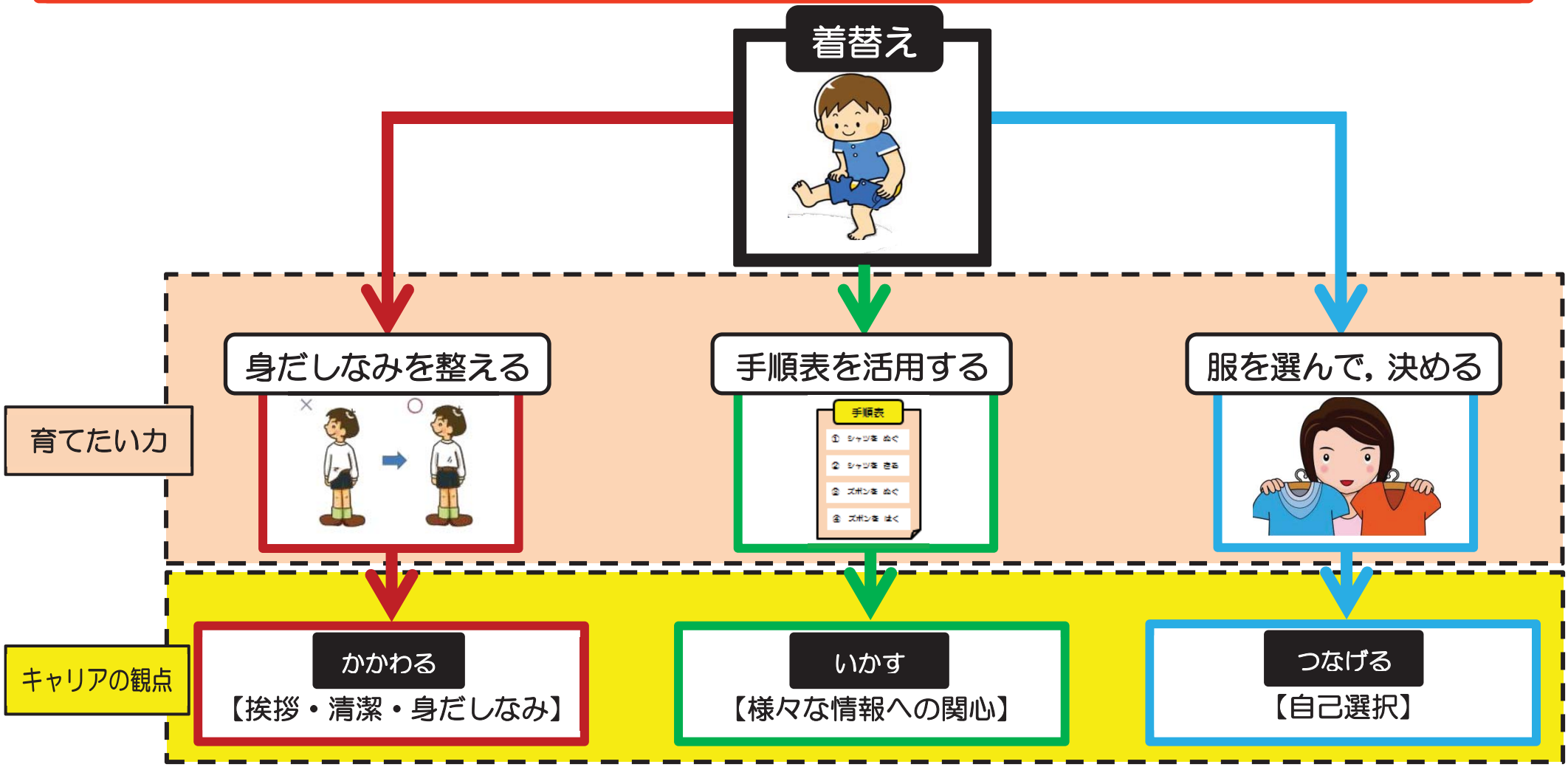
ワンポイント！

枠組みの「小学部高学年段階において育てたい力」に示す帯が，「キャリアの観点」です。帯の下部に記載されているものは，キャリアの観点の具体的な内容です。

5　育てたい力の柔軟な捉え方

学習活動に含まれる複数のキャリアの観点

一つの学習活動であっても，児童生徒の実態や教育的ニーズによっては，**異なるねらい**が設定されます。そして，活動のねらいが異なれば，**位置付けられるキャリアの観点や支援の手立ても変わってきます**。『着替え』を例に考えてみます。



※　育てたい力のキャリアの観点の名称は，「キャリア発達を促す学習プログラムの枠組み（試案）」をもとに表記しています。

6 学習指導略案の見方

共有できる授業目標

児童も分かりやすい目標設定によって，本時の授業のねらいが全員で共有できます。

個に応じた支援

個に応じた指導の充実に向けて，育てたい力を三通り設定し，支援につなげます。

学習指導略案

本時の学習	お楽しみ会の計画をしよう①	本時の目標	2学期の学習活動をもとに，頑張り発表の内容を決めることができる。
展開「4」における育てたい力	A 教師の指示を理解して写真を選択する力	B 部分的な援助をもとに，発表内容を決める力	C 振り返りを通して，自分で発表内容を決める力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1 本時の学習内容について知る。 ①目標の確認 ②2学期の振り返り ③発表内容の決定 ④まとめ	・学習活動を一つずつ板書しながら確認することで，授業の流れを知り見通しをもつことができるようにする。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示	●	いかす 活動への見通し	
	2 目標について知る。 「2学期の頑張り発表」の内容を決めよう	・板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくし，読み上げることで，目標について知ることができるようにする。	●	いかす 目標への意識	
展開	3 2学期の学習活動について振り返る。 （1）振り返りクイズをする。 （校外学習，運動会，宿泊学習，日々の学習）	・2学期の学習活動を想起することができるように，活動している様子の写真を提示する。 ・必要に応じて，「～を頑張っていましたね。」と具体的な取組に対する言葉かけをすることで，児童自身が自分の取組に気付くことができるように促す。	●	いかす 活動の振り返り	
	4 発表内容を決める。 （1）一番頑張った学習活動を選び，発表の準備をする。	・発表する学習活動を決めることができるように，必要に応じて学習活動の写真を提示したり，児童が自分の頑張りに気付くことができるような言葉をかけたりする。 Aグループ：写真の選択，決定を通して決める。	○手がかりを活用して，発表内容を決定できたか。	いかす 手がかりの活用：A つなげる 選択，決定：BC	
	（2）発表の練習をする。	・できる限り一人で発表することができるように，児童の実態に応じて必要な支援（手がかり等の準備）をする。	●	いかす 手がかりの活用	
まとめ	5 まとめをする。 （1）「2学期の頑張り発表」の内容について，発	・「2学期の頑張り発表」の内容について発表する場を設けることで，2学期における自分の取組について改めて振り返ることができるようにする。	●	いかす 活動の振り返り	

つなぐ意識を大切に！

児童の取組の様子を記入し，次時以降につなげます。

育てたい力を明確に！

学習活動のねらいに含まれるキャリアの観点を基に，育てたい力を明確化し，教師間で共通理解が図ることが大切です。
（「展開『　』における育てたい力」の上段は，該当する児童の名前等を記載するためのものです。）

キャリアの観点

学習活動には，多くのキャリアの観点が含まれています。そのため，学習活動における中心的なねらいを明確にし，教師間で共通理解することが大切です。
（本学習指導略案では，［　］で囲い強調しています。）

7 振り返り用教材「かしまノート」

『幅広い活用』

教科や領域・教科を合わせた指導においても，活用できます。

授業の流れに沿った『振り返り』

児童が，板書された内容や授業の流れに沿って，記入することができます。

『学習の記録』

「単元名」を記載し，単元ごとにまとめて綴ることができます。

児童のキャリア発達を促す『教師のコメント』

児童の振り返りに対して評価や励ましをする際に，教師が授業における児童個々の育てたい力を踏まえて行うことにより，児童のキャリア発達を促すことができます。

学習指導略案集

単元１	第５学年「お楽しみ会をしよう」（全５時間）
単元２	第５学年「６年生に向けて」（全５時間）
単元３	第６学年「中学生に向けて」（全 10 時間）
単元４	第６学年「働くことについて知ろう」（全６時間）

単元名：お楽しみ会をしよう

お楽しみ会には，楽しく過ごすことはもとより，キャリア発達を促すためのさまざまなキャリアの観点が含まれています。例えば，お楽しみ会を，「子ども達の取組に対する賞賛の場」と捉えると，「働くことで報酬を得る」という将来的な職業生活に結び付く活動になります。また，「子ども達が主体的に企画・運営する場」と位置付けると，一人一人が集団における自分の役割を果たすことで，集団に対する所属意識を高めたり，集団活動への参加を促したりすることができると考えられます。

そのため，「ねらい」を明確にし，学習活動の中に含まれるキャリアの観点を意識し，子ども達のキャリア発達を促すための指導，支援を意識することが大切になります。

単元の指導計画（全５時間）

単元目標	お楽しみ会を通して，自分の役割を果たすことの大切さを知ることができる。		
次	本時の学習	各時における目標	主な学習内容
1	お楽しみ会の計画をしよう①	２学期の学習活動を基に，頑張り発表の内容を決めることができる。	２学期の振り返り，発表の準備
	お楽しみ会の計画をしよう②	２学期の学習活動で頑張ったことを，発表することができる。	頑張り発表
	お楽しみ会の計画をしよう③	お楽しみ会に向けて，役割分担を決めることができる。	お楽しみ会の計画，役割分担
2	お楽しみ会の準備をしよう	お楽しみ会の準備における自分の役割が分かり，取り組むことができる。	お楽しみ会の準備
3	お楽しみ会をしよう	自分の役割を果たしながら，お楽しみ会に参加することができる。	お楽しみ会

学習指導略案

本時の学習	お楽しみ会の計画をしよう①	本時の目標	２学期の学習活動を基に，頑張り発表の内容を決めることができる。

展開「４」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して写真を選択する力	部分的な援助を基に，発表内容を決める力	振り返りを通して，自分で発表内容を決める力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②２学期の振り返り ③発表内容の決定　④まとめ	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Ａグループ：活動のイラスト，写真等の提示		いかす 活動への見通し	
	２　目標について知る。 「２学期の頑張り発表」の内容を決めよう	・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 目標への意識	
展開	３　２学期の学習活動について振り返る。 （１）振り返りクイズをする。 （校外学習，運動会，宿泊学習，日々の学習）	・２学期の学習活動を想起することができるように，活動している様子の写真を提示する。 ・必要に応じて，「～を頑張っていましたね。」と具体的な取組に対する言葉かけをすることで，児童自身が自分の取組に気付くことができるように促す。		いかす 活動の振り返り	
	４　発表内容を決める。 （１）一番頑張った学習活動を選び，発表の準備をする。	・発表する学習活動を決めることができるように，必要に応じて学習活動の写真を提示したり，児童が自分の頑張りに気付くことができるような言葉をかけたりする。 Ａグループ：写真の選択，決定を通して決める。	○手がかりを活用して，発表内容を決定できたか。	いかす 手がかりの活用：Ａ つなげる 選択，決定：BC	
	（２）発表の練習をする。	・できる限り一人で発表することができるように，児童の実態に応じて必要な支援（手がかり等の準備）をする。		いかす 手がかりの活用	
まとめ	５　まとめをする。 （１）「２学期の頑張り発表」の内容について，発表をする。	・２学期における自分の取組について改めて振り返ることができるように，「２学期の頑張り発表」の内容について発表する場を設ける。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	お楽しみ会の計画をしよう②	本時の目標	２学期の学習活動で頑張ったことを，発表することができる。

展開「４」における育てたい力	A	教師の動作を模倣する力	B	部分的な手がかりの活用を通して発表する力	C	最後まで一人で発表する力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②発表の練習 ③頑張り発表　④まとめ ２　目標について知る。 「２学期の頑張り発表」をしよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	３　発表の練習をする。 ４　「２学期の頑張り発表」をする。 （１）発表の時に，気を付ける点について知る。 （２）「２学期の頑張り発表」をする。	・一人で発表することができるように，必要に応じて写真や原稿などを活用しながら進めるように支援する。 ・よりよい発表ができるように，２つの立場（発表する人：姿勢，声の大きさ，発表を聞く人：静かにする，発表後は拍手）において気を付ける点を具体的に説明する。 ・できる限り一人で発表に取り組むことができるように，必要に応じて，発表の方法について確認を促す。 Aグループ：教師の動作を模倣して，写真やその他の教材を友達に提示する。	○２学期頑張ったことについて，発表することができたか。	いかす 手がかりの活用 かかわる 模倣：A いかす やり通す意欲・態度：BC	
まとめ	５　まとめをする。 （１）「２学期の頑張り発表」のまとめをする。 （２）お楽しみ会について知る。	・児童同士が相互の取組について認め合うことができるように，児童一人一人の取組を称賛する。 ・お楽しみ会を開催するためには，一人一人が役割を果たし協力することが大切であることを説明する。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	お楽しみ会の計画をしよう③	本時の目標	お楽しみ会に向けて，役割分担を決めることができる。				
展開「４」における育てたい力	A	自分が取り組みたい役割のカードを選択する力	B	部分的な援助を基に，自分の役割を決める力	C	話合いを通して，自分で役割を決める力	

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②プログラムの決定 ③役割分担の決定　④まとめ ２　目標について知る。 お楽しみ会のプログラムと役割を決めよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	３　プログラムを決める。 （１）意見を発表し合う。 （２）１学期のプログラムを参考にして決める。 ４　役割分担を決める。 （１）どんな役割が必要か話し合う。 （２）役割を決める。 ・プログラム，飾り，お菓子（３つの役割）	・１学期のお楽しみ会のプログラムを伝えることで想起できるよう促し，どのような活動がしたいかを発表できるようにする。 ・お楽しみ会を開くために必要な役割を確認することで，自分の取り組める役割を選び，決めることができるようにする。 Aグループ：教師が提示した役割を示したカードの中から，自分の取り組みたいものを選択する。 ・役割に対してイメージを持つことができるように，必要に応じて，役割の様子を示したカードを提示する。	○役割を決めることができたか？	いかす 手がかりの活用：A つなげる 選択，決定：BC	
まとめ	５　まとめをする。 （１）役割の大切さについて知る。	・自分の役割を果たすことや友達と協力することの大切さについて知ることができるように，一人一人が役割を果たすことでお楽しみ会が開催できることを伝える。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	お楽しみ会の準備をしよう	本時の目標	お楽しみ会の準備における自分の役割が分かり，取り組むことができる。

展開「3」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解する力	部分的な援助を受けながら役割を果たす力	自分の役割を果たす力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②お楽しみ会の準備 ③まとめ 2　目標について知る。 自分の役割に最後まで取り組もう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　お楽しみ会の準備をする。 （1）役割の確認をする。 （2）グループ活動 （プログラム作り，飾り作り，お菓子の準備）	・役割を確認することで，自分の役割や取り組む内容について知ることができるようにする。 ・活動を進めることが難しい場合には，「教えてください。」と教師に援助を要求するように伝える。そして，活動を再開できるように支援する。 ・必要に応じて個別に支援をしたり，適宜休憩を設けたりすることで，自分の役割に最後まで取り組むことができるようにする。 Aグループ：教師の指示を理解して，自分の役割に取り組む。	○役割に取り組むことができたか？	つなげる 役割の理解と実行 かかわる 指示理解：A いかす やり通す意欲・態度：BC	
まとめ	4　まとめをする。 （1）各グループの活動の報告をする。	・役割を果たすことや友達と協力することの大切さに気付くことができるように，一人一人が自分の役割を果たしたことでお楽しみ会の準備ができたことを伝える。		いかす 活動への見通し かかわる 集団における役割の理解と協力	

学習指導略案

本時の学習	お楽しみ会をしよう	本時の目標	自分の役割を果たしながら，お楽しみ会に参加することができる。

展開「4」における育てたい力	A	B	C
	かかわりの中で自分の意思を表現する力	部分的な援助を受けながら自分の役割を果たす力	自分の役割を果たす力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②プログラムの確認 ③お楽しみ会　④まとめ 2　目標について知る。 友達と協力してお楽しみ会をしよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　プログラムについて確認をする。 （1）プログラムを確認する。 （2）役割分担について確認する。 ・先生の話を聞く。 4　お楽しみ会をする。 （1）司会進行に沿って，お楽しみ会をする。	・見通しを持ってお楽しみ会に参加することができるように，プログラムの確認をする。 ・児童同士が協力しながらお菓子作りに取り組むことができるように，お菓子作りの手順や児童が担当する工程について確認する。 ・児童が，お楽しみ会における自分の役割を果たしながら活動することができるように，適宜役割について確認を促す。 Aグループ：教師や友達からの関わりに対して，自分なりに意思表現（快や不快など）をする。	○自分の役割を果たしながら，お楽しみ会に参加することができたか。	かかわる 意思の表現：A つなげる 役割の理解と実行：BC	
まとめ	5　まとめをする。 （1）お楽しみ会を振り返る。 （2）役割活動の大切さを知る。	・個々の役割を果たすことや友達と協力することの大切さを知ることができるように，一人一人が自分の役割を果たしたことでお楽しみ会が開催できたことを伝える。		いかす 活動の振り返り かかわる 集団における役割の理解と協力	

単元名：６年生に向けて

６年生は，小学部の最高学年であると同時に「中学部への移行の準備」の時期に入り，中学部への移行も視野にいれた長期的な視点に立った指導が必要となります。また，日常生活を営む上で必要なスキルの獲得は基より，児童が自己の役割を果たすことで集団における所属意識や自己有用感を高めるなど，内面の育ちも大切になってきます。小学部最高学年に向けた準備の時期として，児童一人一人のキャリア発達に改めて着目する必要性があります。

そのため，授業における「ねらい」を明確にし，学習活動の中に含まれるキャリアの観点を意識し，子ども達のキャリア発達を促すための指導や支援を意識することが大切になります。

単元の指導計画（全５時間）

単元目標	６年生の役割や学校生活について知り，最高学年になるという自覚を持つことができる。		
次	本時の学習	各時における目標	主な学習内容
1	６年生の役割について	行事や委員会等の具体的な活動を基に，６年生の役割を知ることができる。	６年生における役割の理解
	６年生の学校生活について	６年生の実際の生活を基に，６年生の学校生活の様子について知ることができる。	６年生の学校生活について知る
2	６年生に向けて①	マスター検定（お掃除）を通して，よりよい掃除の仕方を知ることができる。	身の回り検定（お掃除）
	６年生に向けて②	身の回り検定（着替え）を通して，年齢に応じた着替えの仕方について知ることができる。	身の回り検定（着替え）
3	６年生の行事予定について	次年度の行事予定を知ることで，６年生に対する憧れや期待感を発表することができる。	行事予定の確認

学習指導略案

本時の学習	６年生の役割について	本時の目標	行事や委員会等の具体的な活動を基に，６年生の役割を知ることができる。				
展開「４」における育てたい力	A	教師の指示を理解して活動に取り組む力	B	部分的な援助を基に，６年生の役割を理解する力	C	話合いをもとに，自ら６年生の役割を理解する力	

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②６年生について ③６年生の役割　④まとめ ２　目標について知る。 ６年生の役割について知ろう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Ａグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	３　６年生について知る。 （１）６年生が，小学部の最高学年であることを知る。 ４　６年生の役割について話し合う。 （１）新入生歓迎会やなかよし集会における役割 （２）季節の行事における役割 （３）運動会における役割 （４）特体連の表彰における役割	・６年生が，小学部の最高学年であることを知ることができるように，これまでの小学部生活の行事や出来事を基に説明をする。 ・写真やイラスト等の視覚教材を基に行事を振り返る。６年生の役割について話し合うことができるように，視覚教材の着目するポイント（誰が・何をしている等）を記したカードをクラスごとに配付する。 Ａグループ：話し合った内容を記載したカードを，黒板に掲示する役割	○６年生の役割について知ることができたか。	いかす 情報収集 かかわる 指示理解：A 役割の理解：BC	
まとめ	４　まとめをする。 （１）６年生が担う役割について発表する。	・小学部の最高学年としての役割について確認することができるように，板書した話し合いの内容を参考にしながら６年生の役割について発表するように促す。 ・次年度は６年生として，一人一人が自分の役割を果たすことが大切であることを伝える。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	６年生の学校生活について	本時の目標	６年生の実際の生活を基に，６年生の学校生活の様子について知ることができる。

展開「３」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助を基に，６年生の生活を知る力	映像を基に，５・６年生の違いに気付く力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②６年生の生活 ③まとめ ２　目標について知る。 ６年生の生活を知ろう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	３　映像をもとに，５・６年生の違いについて話し合う。 （１）学習活動の様子 （２）給食の様子 （３）歯磨きの様子 （４）掃除の様子	・６年生が，授業や学校生活にどのような態度で取り組んでいるかを注意しながら見ることができるように，映像を見る際のポイント（①授業中のおしゃべり，②授業中の出歩き，③給食中の過ごし方，④歯磨きタイムの過ごし方，⑤掃除の仕方等）を挙げる。 ・各活動場面の様子を板書することで，映像を見た後に振り返ることができるようにする。 Aグループ：話し合った内容を記載したカードを，黒板に掲示する役割	○６年生の生活について知ることができたか。	いかす 情報収集 かかわる 指示理解：A いかす 情報収集：BC	
まとめ	４　まとめをする。 （１）６年生に向けて，残りの５年生の生活で取り組むべきことについて知る。	・５年生と６年生の違いについて感じたことや気付いたことを発表できるように，６年生の生活について板書した内容を基に発表するように促す。 ・６年生の生活の様子の中で良かった点を再度確認することで，６年生に向けて残りの５年生の生活の中で取り組むべきことを知ることができるようにする。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	６年生に向けて①	本時の目標	マスター検定（お掃除）を通して，よりよい掃除の仕方を知ることができる。				
展開「４」における育てたい力	A	教師や友達の動きを模倣する力	B	部分的な援助を基に，掃除の仕方を知る力	C	自分でよりよい掃除の仕方が分かる力	

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②マスター検定の説明 ③マスター検定　④まとめ	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示		いかす 活動への見通し	
	２　目標について知る。 自分のことは，自分でできるようになろう	・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 目標への意識	
展開	３　マスター検定の説明を聞く。 （１）マスター検定の活動内容について知る。	・活動に見通しを持って取り組むことができるように，マスター検定の項目（①雑巾絞り，②雑巾がけ，③ほうきの扱い，④ほうきとちりとりの併用）について説明する。		いかす 活動への見通し	
	４　マスター検定をする。	・友達の良かった点に気付いたり，認め合ったりすることができるように，児童同士が互いの取組を見合ったり，感想を発表し合ったりする。 ・達成感を味わうことができるように，検定カードを用意し，合格した項目にシールを貼り賞賛する。 Aグループ：教師や友達の動きの模倣を通して，マスター検定（お掃除）に取り組む。	○よりよい掃除の仕方を知ることができたか。	かかわる 模倣：A いかす 情報収集：BC	
まとめ	５　まとめをする。 （１）掃除について，自分がこれから頑張るべきことについて知る。	・これから頑張るべきことについて気付くことができるように，合格シールの獲得数や獲得した項目を通して，現時点で自分ができていることを確認する。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	６年生に向けて②	本時の目標	身の回り検定（着替え）を通して，年齢に応じた着替えの仕方について知ることができる。

展開「４」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助を基に，着替えの仕方を知る力	自分でよりよい着替えの仕方が分かる力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②身の回り検定の説明 ③身の回り検定　④まとめ	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示		いかす 活動への見通し	
	２　目標について知る。 自分のことは，自分でできるようになろう	・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 目標への意識	
展開	３　身の回り検定の説明を聞く。 （１）身の回り検定の活動内容について知る。	・活動に見通しを持って取り組むことができるように，身の回り検定の項目（①洋服のたたみかた，②洋服のかごへのしまい方，③ハンガーの使い方【ジャンパー等】）について説明する。		いかす 活動への見通し	
	４　身の回り検定をする。	・友達の良かった点に気付いたり，認め合ったりすることができるように，児童同士が互いの取組を見合ったり，感想を発表し合ったりする。 ・達成感を味わうことができるように，検定カードを用意し，合格した項目にシールを貼り賞賛する。 Aグループ：教師の指示を理解して，手順に沿って着替える活動	○よりよい着替えの仕方を知ることができたか。	かかわる 指示理解：A 身だしなみの習慣化：BC	
まとめ	５　まとめをする。 （１）着替えについて，自分がこれから頑張るべきことについて知る。	・これから頑張るべきことについて気付くことができるように，合格シールの獲得数や獲得した項目を通して，現時点で自分ができていることを確認する。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	６年生の行事予定について	本時の目標	次年度の行事予定を知ることで，６年生に対する憧れや期待感を発表することができる。

展開「３」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助を基に，６年生の生活を知る力	活動を通して，６年生の生活について知る力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②６年生の行事予定 ③まとめ ２　目標について知る。 ６年生の行事予定について知ろう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Ａグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	３　６年生の行事予定について知る。 （１）６年生における行事について知る。 （２）６年生先取りカレンダーを作成する。 （３）６年生の行事予定を基に，憧れていることや期待していることについて発表する。	・６年生への憧れや期待感を持つことができるように，修学旅行や卒業式など，６年生だけの行事や６年生が主役となる行事における内容を説明する。 ・作成にあたっては，集団における自分の役割を果たすことの大切さを体験できるように，題字の作成やイラストの貼り付けなど，役割を分担する。 ・楽しみにしている行事や頑張りたいことなどについて発表することで，６年生に向けて期待感や憧れを持つことができるようにする。 Ａグループ：教師の指示を理解して，６年生の行事を示したカードの中から，興味のあるカードを選ぶ。	○６年生に対する期待感や憧れを持ち，発表することができたか。	いかす 活動への見通し かかわる 集団における役割の理解と協力 かかわる 指示理解：Ａ いかす 活動への見通し：BC	
まとめ	４　まとめをする。 （１）６年生の役割について知る。	・発表内容を再度取り上げて紹介したり，６年生の役割について説明したりすることで，６年生に対する憧れや期待感を更に持つことができるようにする。		いかす 活動の振り返り	

単元名：中学生に向けて

小学部高学年は，「中学部への移行の準備」であり，子ども達の発達段階における「節目」となる重要な時期です。「中１ギャップ」という言葉があるように，中学部に進学した生徒の中には，新しい環境に適応することが難しく，様々な困り感を抱えながら学校生活を送っている生徒もいます。

そのため，「節目」としての小学部高学年段階の重要性を踏まえ，子ども達一人一人が安心して中学部に進学できるような事前学習を計画，実施していくことが必要になります。

本単元では，中学生に向けて，友達と一緒に中学部について調べたり，実際に中学部の教師の話を聞いたりという体験的な学習を通して，中学部での生活について理解を深めることで，期待感や見通しが持てるようになることを目標としています。

単元の指導計画（全１０時間）

単元目標	調べ学習や中学生の体験談を聞く機会等を通して，中学部の生活に期待感や見通しを持つことができる。		
次	本時の学習	各時における目標	主な学習内容
1	中学部について知ろう①	中学部見学に向けて，調べ学習の係分担を決めることができる。	見学の計画
2	中学部について知ろう②	見学を通して，中学部について調べることができる。	中学部の見学
	中学部について知ろう③	調べてきた見学のポイントについて，発表することができる。	見学した内容の情報交換会
3	中学生に向けて①	中学部生活に向けて，自分が努力すべきことについて知ることができる。	中学部の先生の話を聞く
	中学生に向けて②	制服の更衣体験を通して，制服の着脱の仕方について知ることができる。	制服の模擬体験
	中学生に向けて③	中学生に向けて，身だしなみ（髪形，爪，ハンカチの携帯）の大切さについて知ることができる。	身だしなみに関する学習
	中学生に向けて④	中学生に向けて，場面に応じた言葉遣い（７つのことば）について知ることができる。	７つの言葉の使い方
4	もうすぐ中学生①	中学生の体験談を聞くことで，中学部生活について知ることができる。	中学生の話を聞く
	もうすぐ中学生②	中学部１年生の行事等について知ることができる。	年間予定の確認
	もうすぐ中学生③	中学生に向けて，残りの小学部生活で頑張る目標を決めることができる。	中学生に向けた目標の決定

学習指導略案

本時の学習	中学部について知ろう①	本時の目標	中学部見学に向けて，調べ学習の係分担を決めることができる。

展開「４」における育てたい力	A	B	C
	自分が取り組みたい役割のカードを選択する力	部分的な援助を基に，自分の役割を決める力	話合いを通して，自分の役割を決める力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②小学部と中学部の違い ③係分担の決定　④まとめ 2　目標について知る。 見学の係分担を決めよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　小学部と中学部の違いについて話し合う。 （1）中学部について知っていることを発表する。 4　中学部見学の係分担を決める。 （1）調べ学習の担当を決める。	・中学部に対する印象を児童同士で共有できるように，中学部について知っていることを質問し発表を促す。 ・調べ学習のポイント（服装，時間割，給食の時間）が分かるように，視覚教材を用いて確認をする。 ・話合いを通して役割分担を決めることができるように，見学のポイントを提示する。 Aグループ：役割を示すカードの中から，自分の取り組みたい役割のカードを選ぶ。	○見学の役割分担を，決めることができたか。	いかす 手がかりの活用：A つなげる 選択，決定：BC	
まとめ	5　まとめをする。 （1）次回の学習内容について知る。	・次回の学習で，見学のポイントを調べることが一人一人の大切な役割であることを伝える。 ・集団における役割を果たすことの大切さに気付くことができるように，一人一人が役割を果たすことで６年生全員が中学部について知ることができるということを伝える。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

習指導略案

本時の学習	中学部について知ろう②	本時の目標	見学を通して，中学部について調べることができる。

展開「4」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して役割に取り組む力	部分的な援助を受けながら役割を果たす力	自分の役割を果たす力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②見学時の約束や係の確認 ③見学　④まとめ 2　目標について知る。 中学部について調べよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　見学時の役割や約束を知る。 ・静かに見学する ・廊下は右側を一列で歩く ・中学部の生徒や教員にあいさつをする 4　見学をする。 （1）担当する見学のポイントを調べる。	・調べ学習の担当を確認することで，自分の役割について再認識し，主体的に取り組むことができるようにする。 ・マナーを守って見学できるように，見学時の約束を決めて確認をする。 ・見学のポイントを記したワークシートを提示し，担当する見学のポイントを調べることができるようにする。 Aグループ：教師の指示を理解して，役割に取り組む。	○見学のポイントを調べることができたか。	つなげる マナーの理解 かかわる 指示理解：A つなげる 役割の理解と実行：BC	
まとめ	5　まとめをする。 （1）見学時の役割や約束について振り返る。 （2）次回の学習内容について知る。	・役割を果たすことや約束（マナー）を守ることの大切さが分かるように，見学時の活動を振り返る。 ・次時の学習に見通しが持てるように，次時は調べてきたことを発表することを伝える。また，次時への意識が高められるように，調べ学習で気付いたことを発表する場面を設定する。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	中学部について知ろう③	本時の目標	調べてきた見学のポイントについて，発表することができる。

展開「4」における育てたい力	A	教師の動作を模倣する力	B	部分的な手がかりの活用を通して発表する力	C	最後まで一人で発表する力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②発表の練習 ③発表　④まとめ 2　目標について知る。 調べてきたことを発表しよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　発表の練習をする。 （1）発表方法について確認をする。 4　調べてきたことを発表する。 （1）発表時の約束を確認する。 ○発表する人 ①姿勢を整える。 ②友達に聞こえる声で話す。 ○発表を聞く人 ①静かに聞く。 ②発表後には拍手をする。 （2）発表をする。	・児童ができるかぎり一人で発表できるように，必要に応じて原稿や写真などの補助具の活用を促す。 ・発表する人と発表を聞く人の２つの立場において気を付ける点を知ることで，よりよい発表ができるようにする。なお，発表後の拍手は相手の取組を認めたり，感謝したりするために必要であることを確認する。 ・調べてきた内容について発表することができるように，見学で使用したワークシートを活用することを伝える。 Aグループ：教師の動作を模倣して，調べてきた内容を示す物を皆に向かって提示する役割	○調べてきたことを発表できたか。	いかす 手がかりの活用 かかわる 模倣：A いかす やり通す意欲・態度：BC	
まとめ	5　まとめをする。 （1）小学部と中学部の違いについて確認する。 （2）次回の学習内容について知る。	・目標を確認することで，自分の取組について振り返ることができるようにする。 ・次回は，中学部主事の先生の話を聞くことを伝える。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	中学生に向けて①	本時の目標	中学部生活に向けて，自分が努力すべきことについて知ることができる。

展開「5」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助を通して，自分の努力すべきことを知る力	話をもとに，自分の努力すべきことが分かる力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②話を聞く時の約束 ③お話　④まとめ 2　目標について知る。 中学生に向けて頑張ることを知ろう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　話を聞く時の約束マナーを知る。 4　話を聞く。 （1）中学部主事の先生から，中学部についての話を聞く。 （2）中学部について，質問をする。	・話を聞く時のマナーについて知ることができるように，具体的なポイント（①椅子に座る，②おしゃべりをしない）を挙げて確認をする。 ・中学部での生活について知ることができるように，必要に応じて教師が適宜メモを取ったり，重要な部分を復唱したりして個別に伝える。 ・中学部について疑問に思っていたり，不安に感じたりしていることを解決できるように，中学部主事に質問する場面を設ける。		つなげる マナーの理解	
まとめ	5　まとめをする。 （1）中学部主事の話を基に，中学生に向けて頑張ることを発表する。	・中学生に向けて，これから努力すべきことについて知ることができるように，クラスごとに話し合ってシートに記入する。 Aグループ：記入したカードを黒板に掲示する役割	○中学生に向けて，これから頑張ることが分かったか。	かかわる 指示理解：A いかす 目標への意識：BC	

学習指導略案

本時の学習	中学生に向けて②	本時の目標	制服の更衣体験を通して，制服の着脱の仕方について知ることができる。

展開「3」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して制服を着る力	部分的な援助を通して，制服の着方について知る力	活動を通して，制服の着方について知る力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②やってみよう ③まとめ 2　目標について知る。 制服を着る方法について知ろう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　制服の更衣体験をする。 （1）ボタン付きシャツを着る。 （2）上着やスカートを着る。 （中学部から借用）	・制服（上着，ズボン，スカート，シャツ等）をできるだけ一人で着ることができるように，必要に応じて手順表を提示したり，着方の手本を見せたりする。 Aグループ：教師の指示を受けて，制服の更衣体験（制服やシャツ等の着脱）に取り組む。 ※　児童の取り組みに応じて，手順表を活用する。	○制服の着脱の仕方について知ることができたか。	かかわる 指示理解：A 身だしなみの習慣化：BC	
まとめ	4　まとめをする。 （1）中学部での生活について知る。 （2）制服体験について感想を発表する。	・制服を着用して登下校することを紹介したり，本日の学習の感想を発表したりすることで，中学部に向けて期待感を持てるようにする。 ・中学部への意識を持つことができるように，制服の体験を通して気付いたことや学んだことを，今後の朝や帰りの着替えの際にも実践していくように伝える。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	中学生に向けて③	本時の目標	中学生に向けて，身だしなみ（髪形，爪，ハンカチの携帯）の大切さについて知ることができる。

展開「4」における育てたい力	A	B	C
	手がかりを活用する力	部分的な援助を通して，望ましい身だしなみを知る力	話を聞いて，望ましい身だしなみが分かる力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②身だしなみの確認 ③身だしなみの大切さ　④まとめ 2　目標について知る。 身だしなみの大切さを知ろう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　身だしなみの大切さについて知る。 （1）自分の身だしなみ（髪形，爪の長さ，ハンカチの携帯）について確認をする。 （2）身だしなみクイズをする。	・自分の身だしなみについて確認することができるように，身だしなみのポイントについて記したワークシートや写真を提示する。 ・望ましい身だしなみについて知ることができるように，身だしなみ（髪形，爪の長さ，ハンカチの携帯）についてクイズをする。 ・視覚教材を用いて望ましい身だしなみについて伝えることで，今後，具体的にどのような点を意識することが大切なのかを知ることができる。 Aグループ：望ましい身だしなみのカードを確認する。その後，複数のカードの中から，望ましい身だしなみのカードの選択をする。	○身だしなみの大切さを知ることができたか。	いかす てがかりの活用 いかす 手がかりの活用 いかす 手がかり活用：A かかわる 身だしなみの習慣化：BC	
まとめ	5　まとめをする。 （1）中学生に向けて，身だしなみが大切なことを知る。	・身だしなみの大切さについて確認し，中学生に向けて，これから意識していくことが必要であることを伝える。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	中学生に向けて④	本時の目標	中学生に向けて，場面に応じた言葉遣い（７つのことば）について知ることができる。

展開「４」における育てたい力	A	B	C
	教師の動作を模倣する力	部分的な援助を通して，言葉遣いについて知る力	話を聞いて，場面に応じた言葉遣いが分かる力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②７つのことばの確認 ③言葉の使い方　④まとめ ２　目標について知る。 ７つのことばの使い方を知ろう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Ａグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	３　７つのことばについて確認する。 ４　７つのことばの使い方について知る。 （１）場面に応じた言葉の使い方を話し合う。 （２）７つのことばに関するクイズをする。	・児童が７つのことばを想起することができるように，どのような言葉が含まれていたかを質問したり，教師が実際に示したりする。 ・７つのことばの使い方について，視覚教材を使って具体的な場面を一つずつ確認しながら，適切な使用方法や場面について知ることができるようにする。 ・７つのことばについて，使用方法や場面が適切かどうかを確認するクイズを実施することで，実際の生活との結び付きがあることに気付くことができるようにする。 Ａグループ：教師の動作を模倣して，自分なりのあいさつの仕方について体験する。	○７つのことばについて，場面に応じた使い方を知ることができたか。	かかわる 模倣：Ａ 言葉遣い：BC	
まとめ	５　まとめをする。 （１）学習した内容を振り返る。	・今後の学校生活の中で意識していくことができるように，７つのことばの使用方法や場面について確認する。		いかす 活動の振り返り	

学習指導略案

本時の学習	もうすぐ中学生①	本時の目標	中学生の体験談を聞くことで，中学部生活について知ることができる。

展開「4」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助を通して，中学部の生活を知る力	話を聞いて，中学部の生活を知る力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②話を聞く時の約束 ③中学生の話　④まとめ 2　目標について知る。 先輩の話を聞こう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　話を聞く時の約束を確認する。 4　中学生の話を聞く。 （1）中学生の先輩から，中学部についての話を聞く。 （2）中学生の先輩に質問をする。	・話を聞く時は，椅子に座って静かに聞くことを確認することで，話を聞く時の約束について知ることができるようにする。 ・授業や行事の様子を示した写真や文字カードを用いて，具体的な中学部の話を聞くことで，中学部に対する見通しやイメージを膨らませることができるようにする。 ・質問の時間を設定することで，中学部に対する見通しや期待感が持てるようにする。 Aグループ：教師の指示を理解し，質問を記した教材の提示等，質問をする役割	 ○中学部の生活について知ることができたか。	つなげる マナーの理解 かかわる 指示理解：A いかす 活動への見通し：BC	
まとめ	5　まとめをする。 （1）中学部について聞いた内容について発表をする。	・中学部への進学を意識したり，期待感を膨らませたりすることができるように，中学生から聞いた内容を振り返り，感想を発表する場面を設ける。		いかす 活動の振り返り	

学習指導略案

本時の学習	もうすぐ中学生②	本時の目標	中学部１年生の行事等について知ることができる。

展開「３」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助を通して，中学部について知る力	活動を通して，中学部について分かる力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②年間予定の確認 ③まとめ ２　目標について知る。 中学部１年生の予定を知ろう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	３　中学部１年生の年間予定について話し合う。 （１）ワークスデーや放課後活動など，中学部１年生における行事について知る。 （２）「中学部１年生先取り」カレンダーを作成する。	・中学部１年生における行事について見通しが持てるように，行事予定を一つずつ確認する。 ・中学部への憧れや期待感を持つことができるように，ワークスデー（校内実習）や放課後活動など，中学部から始まる行事や活動について説明する。 ・集団における自分の役割を果たすことの大切さを知ることができるように，題字の作成やイラストの貼り付けなど，役割を分担して取り組むようにする。 Aグループ：教師の指示を理解して，台紙にイラストを貼り付ける役割	○中学部１年生の行事予定を知ることができたか。	かかわる 指示理解：A いかす 活動への見通し：BC	
まとめ	５　まとめをする。 （１）行事予定について確認をする。	・中学部での新生活に見通しを持つことができるように，作成したカレンダーを基に，中学部１年生の行事予定について確認する。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	もうすぐ中学生③	本時の目標	中学生に向けて，残りの小学部生活で頑張る目標を決めることができる。

展開「4」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助により，中学生に向けて頑張ることを知る力	中学生に向けて，自分のすべきことが分かる力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	児童の様子（評価）	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②これまでの振り返り ③目標の決定　④まとめ 2　目標について知る。 中学生に向けて頑張ることを決めよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　中学生に向けての学習について話し合う。 4　中学生に向けて，頑張る目標を決める。 （1）中学部主事や中学生の話を基に，自分の頑張ることを決める。	・本単元で取り扱った内容について質問することで，学習したことを想起できるようにする。また，中学部主事や中学生の話を確認することで，「小学部で頑張ること」について再度確認できるようにする。 ・中学部主事や中学生の話を取り上げることで，具体的にどのような点に取り組む必要があるのか，知ることができるようにする。 Aグループ：中学部に向けて頑張る内容を示したカードの中から，自分の頑張る内容を示すものを選択する。その後，選択したカードを，ワークシートに貼る。	 ○中学生に向けて，残りの小学部生活で頑張る目標を決めることができたか。	いかす 活動の振り返り かかわる 指示理解：A いかす 目標への意識：BC	
まとめ	5　まとめをする。 （1）中学生に向けて，頑張る目標を発表する。	・中学部での生活に憧れや期待感を持つことができるように，中学生に向けて，残りの小学部生活で自分が頑張ることについて発表する場を設ける。		いかす 活動の振り返り 目標への意識	

単元名：働くことについて知ろう

特別支援教育は，幼児児童生徒の自立と社会参加を目指し，個に応じた指導や支援に取り組んでいます。なかでも，思春期に入り，自分の将来に目を向け始める小学部高学年では，職場見学や作業学習などの体験活動を通して，児童が自分自身の進路について考えたり，働くことについて興味や関心を持ったりすることができるような学習が必要になります。

そして，実際に働くことに関する学習を進めるにあたっては，「キャリア教育＝進路学習」ではなく，「キャリア教育＝キャリア発達を促す教育」という点に留意し，小学部高学年という発達段階や児童の実態などを踏まえて学習内容を取り扱うことが大切です。

本単元「働くことについて知ろう」は，①様々な仕事について知る学習，②実際に働いている人々の様子を見学に行く学習（職場見学），③働くことを体験する学習（作業的な学習），以上三つの学習内容を柱に計画されています。本単元を中学部に向けた学習等と関連させることで，より児童の生活的な目標や課題に沿った学習を展開することができます。

単元の指導計画（全６時間）

単元目標	職場見学や働くことに関する体験的な学習を通して，働くことの大切さについて知ることができる。		
次	本時の学習	各時における目標	主な学習内容
1	いろいろな仕事	社会には，様々な職業があることを知ることができる。	職業について
2	職場見学に行こう①	職場見学に向けて，調べる内容を決めることができる。	職場見学の準備（調べる内容等）
	職場見学に行こう②	**※　職場見学の実施計画に基づくため，本学習指導略案内に含まれていません。**	職場見学
	職場見学に行こう③	職場見学で調べてきたことを基に，発表の準備をすることができる。	職場見学の振り返り（発表の準備等）
	職場見学に行こう④	職場見学で調べてきたことについて，発表することができる。	職場見学の振り返り（発表等）
3	働くことを体験しよう	作業的な学習を通して，働くことの大切さについて知ることができる。	作業的な学習（中学生に向けて）

学習指導略案

本時の学習	いろいろな仕事	本時の目標	社会には，様々な職業があることを知ることができる。

展開「３」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助を基に，様々な職種に関心を持つ力	働くことに関心を持つ力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②６年生について ③６年生の役割　④まとめ ２　目標について知る。 さまざまな仕事について知ろう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	３　様々な職業について知る。 （１）知っている職業や興味のある職種について話し合う。 （２）「色々なお仕事表」を作る。	・様々な職業についてクラスごとに話し合ったり，発表し合ったりすることで，職業について興味や関心を持つことができるようにする。 ・児童にとって身近な職業（医者や警察官など）だけでなく，スポーツ選手や歌手などのテレビ等で目にする職業についても紹介し，各々の職業を示す名前カードやイラストを基にして「色々なお仕事表」を作成することで，様々な職業について知ることができるようにする。 Aグループ：教師の指示を理解して，職業を示すイラストを台紙の決められた場所に貼る役割	○様々な職業があることを知ることができたか。	かかわる 指示理解：A いかす 働く人など様々な環境への関心：B つなげる 働くことへの関心：C	
まとめ	４　まとめをする。 （１）様々な職業について振り返る。	・様々な職業について振り返ることができるように，「色々なお仕事表」を参考に，新たに知った職種や興味のある職業について発表する場を設ける。また，次時以降は，職場見学の事前学習等が始まることを伝える。		つなげる 働くことへの関心 いかす 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	職場見学に行こう①	本時の目標	職場見学に向けて，調べる内容を決めることができる。				
展開「４」における育てたい力	A	教師の指示を理解して活動に取り組む力	B	部分的な援助をもとに，調べる内容を決める力	C	調べる内容を決める力	

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	１　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②行き先について ③調べ学習について　④まとめ ２　目標について知る。 職場見学で調べることを決めよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	３　職場見学の行き先や日程などについて知る。 ４　調べる内容を決める。 （１）見学で知りたいことについて話し合い，調べる内容を決める。	・パワーポイント等を通して職場見学の日程について説明をしたり，職場見学当日の流れを示す掲示物を作成したりすることで，職場見学の行き先について知り，見通しを持って学習に取り組むことができるようにする。 ・職場見学で知りたいことについてクラスごとに話し合って決めることができるように，話合いの進行状況に合わせて，「働いている人数」や「一日に働く時間」などと調べる内容について助言したり，決定した内容をまとめるためのワークシートを提示したりする。 Aグループ：調べる内容を記したワークシートを，黒板に掲示する役割	○調べる内容を決めることができたか。	いかす 活動への見通し かかわる 指示理解：A つなげる 選択，決定：BC	
まとめ	５　まとめをする。 （１）職場見学で調べる内容を確認する。	・職場見学において調べる内容を確認することができるように，クラスごとに，児童の代表者が調べる内容について発表する場面を設定する。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	職場見学に行こう③	本時の目標	職場見学で調べてきたことを基に，発表の準備をすることができる。

展開「３」における育てたい力	A	B	C
	教師の言葉かけや手がかりを基に活動に取り組む力	部分的な援助を基に，発表の準備をする力	よりよい発表の方法について自分で考える力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②発表の準備 ③まとめ 2　目標について知る。 発表の準備をしよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　発表の準備をする。 （1）調べた内容をまとめる。 （2）発表の練習をする。	・個に応じた方法で調べた内容をまとめることができるように，コンピュータの活用や紙芝居など，様々な発表の方法があることを伝える。 Aグループ：調べ学習で使用したワークシートを，模造紙の決められた場所に貼る役割 ・調べた内容についてできる限り一人で発表することができるように，必要に応じて，発表原稿等の手がかりとなる教材を提示し活用を促す。 ・調べた内容を分かりやすく伝える方法を考え，発表に取り入れることができるように，「写真を使うのはどうですか？」等，必要に応じて具体的な方法を紹介する。	○発表での自分の役割が分かり，練習に取り組むことができたか。	いかす 手がかりの活用：A いかす 手がかりの活用：B する 主体性：C	
まとめ	4　まとめをする。 （1）発表の内容や方法などについて振り返る。	・次時に向けて，発表の内容や方法などについて振り返ることができるように，発表の準備や練習に取り組んだ感想等を発表する場を設ける。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	職場見学に行こう④	本時の目標	職場見学で調べてきたことについて，発表することができる。

展開「4」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助を基に，発表に取り組む力	発表に向けて準備した内容を基に，発表する力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②発表の練習 ③発表　④まとめ 2　目標について知る。 調べてきたことを発表しよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　発表の練習をする。 （1）発表の確認をする。 4　調べてきたことを発表する。 （1）発表の時に，気を付ける点について知る。 （2）調べてきたことを発表する。	・できる限り一人で発表における自分の役割に取り組むことができるように，役割や発表において活用する教材等について確認を促す。 ・よりよい発表ができるように，二つの立場（発表する人：姿勢，声の大きさ，発表を聞く人：静かにする，発表後は拍手）において気を付ける点を具体的に説明する。 ・できる限り一人で発表に取り組むことができるように，児童の実態に応じた活動時間の確保や教材提示などをする。 Aグループ：教師の指示を理解して，作成物を他クラスの教師や友達に提示する役割	○各自がそれぞれの役割を果たし，発表することができたか。	かかわる 役割の理解と協力 いかす 手がかりの活用 かかわる 指示理解：A つなげる 役割の理解と実行：BC	
まとめ	5　まとめをする。 （1）発表について振り返る。	・児童が，自分自身や友達の発表について振り返ることができるように，具体的な発表の様子等を取り上げて，一人一人の取組を称賛する。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

学習指導略案

本時の学習	働くことを体験しよう	本時の目標	作業的な学習を通して，働くことの大切さについて知ることができる。

展開「３・４」における育てたい力	A	B	C
	教師の指示を理解して活動に取り組む力	部分的な援助を基に，働くことについて興味を持つ力	働くことについて興味や関心を持つ力

展開

	学習活動	指導上の留意点及び支援の工夫	評　価	キャリアの観点	次時に向けて
導入	1　本時の学習内容について知る。 ①目標の確認　②役割の確認 ③作業的な学習　④まとめ 2　目標について知る。 作業をやってみよう	・授業の流れを知って見通しを持つことができるように，学習活動を一つずつ板書しながら確認する。 Aグループ：活動のイラスト，写真等の提示 ・目標について知ることができるように，板書した目標を赤枠で囲み注目しやすくしたり，読み上げたりする。		いかす 活動への見通し いかす 目標への意識	
展開	3　簡単な作業を体験する。（作業内容は未定） （1）自分の役割について知る。 （2）作業を体験する。	・自分の役割について知ることができるように，担当する作業工程を示す写真やイラスト等を提示する。 ・児童が主体的に活動に取り組むことができるように，児童の実態等を考慮して担当する作業工程（役割）を決定する。 ・働くことの大切さを感じることができるように，「（例）～くんのおかげで，△グループの友達の作業が進んでいますよ。」など，自己の取組の必要性を感じるような言葉かけをする。 Aグループ：教師の指示を理解して，担当する工程に取り組む。	○働くことの大切さについて知ることができたか。	いかす 手がかりの活用 かかわる 指示理解：A つなげる 働くことへの関心：BC	
まとめ	4　まとめをする。 （1）働くことの大切さについて知る。	・働くことの大切さについて知ることができるように，各々の工程が関連し合うことで，作業が成り立ったことを説明し，児童一人一人の取組について称賛する。		いかす 活動の振り返り 活動への見通し	

参考教材

ー　お楽しみ会をしよう　ー

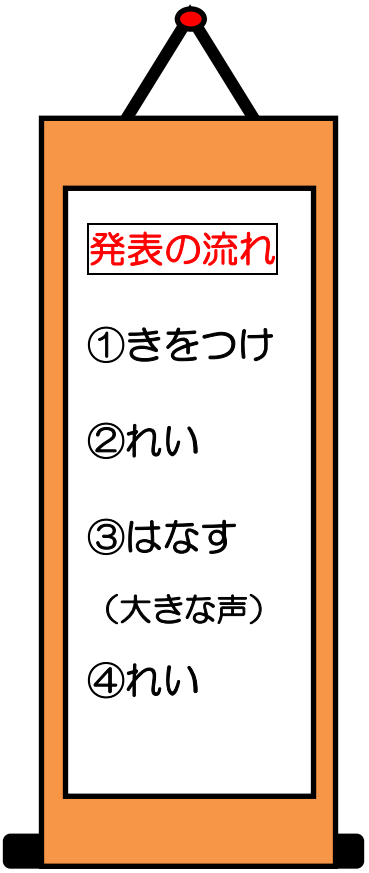
（ワークシート）

発表（はっぴょう）しよう

名前（なまえ）＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

1　頑張（がんば）ったこと

2　発表原稿（はっぴょうげんこう）（話（はな）すこと）



参考教材

― 6 年生に向けて ―

（ワークシート，検定用カード）

６年生をしらべよう

名前（なまえ）

しらべるポイント

べんきょう	
きゅうしょく	
はみがき	
そうじ	

マスターけんてい

名前（なまえ）

めざせ！！おそうじマスター

ぞうきんしぼり	
ぞうきんがけ	
ほうき	
ほうきとちりとり	

せんせいから

みのまわりけんてい

名前（なまえ）

みのまわりけんていに　チャレンジ！

たたみかた	
しまいかた	
ハンガー	

せんせいから

参考教材

ー 中学生に向けて ー

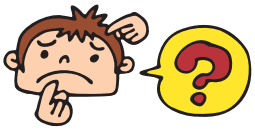
（ワークシート，パワーポイント資料等）

ちゅうがくぶ
中学部をしらべよう

６年　　組

しらべるポイント

じかんわり



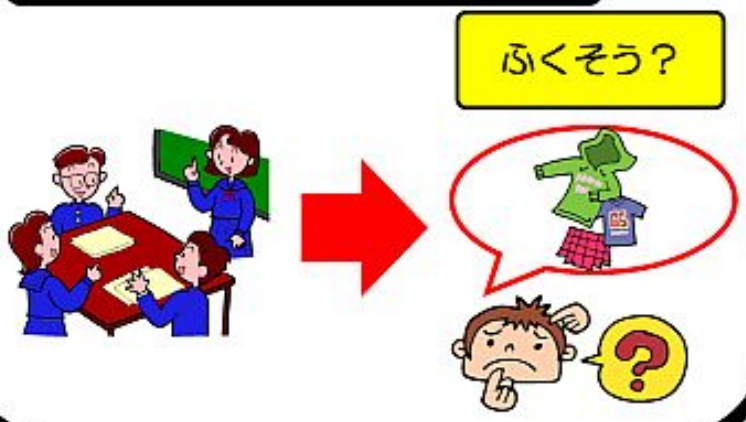
あたらしいじゅぎょう

1										
2										
3										
4										
5										
6										

ちゅうがくぶ
中学部をしらべよう

６年　　組

しらべるポイント



ちゅうがくせい
中学生は，まいにち

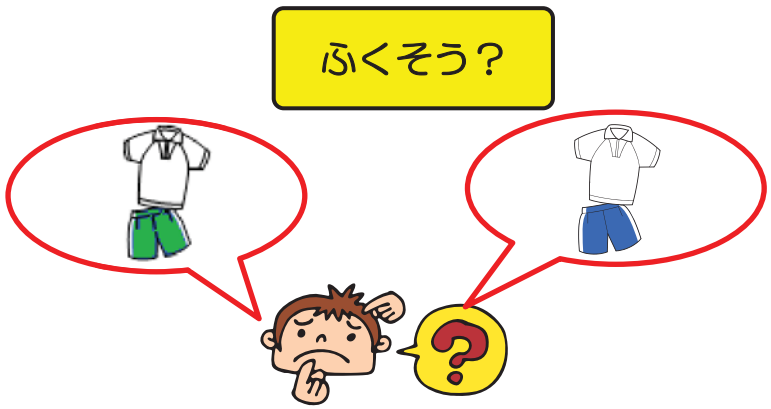
をきて，

がっこう
学校にきます。

ちゅうがくぶ
中学部をしらべよう

６年 □ 組

しらべるポイント



しょうがくぶ　ちゅうがくぶ
小学部と中学部では，

□□□□□□ が

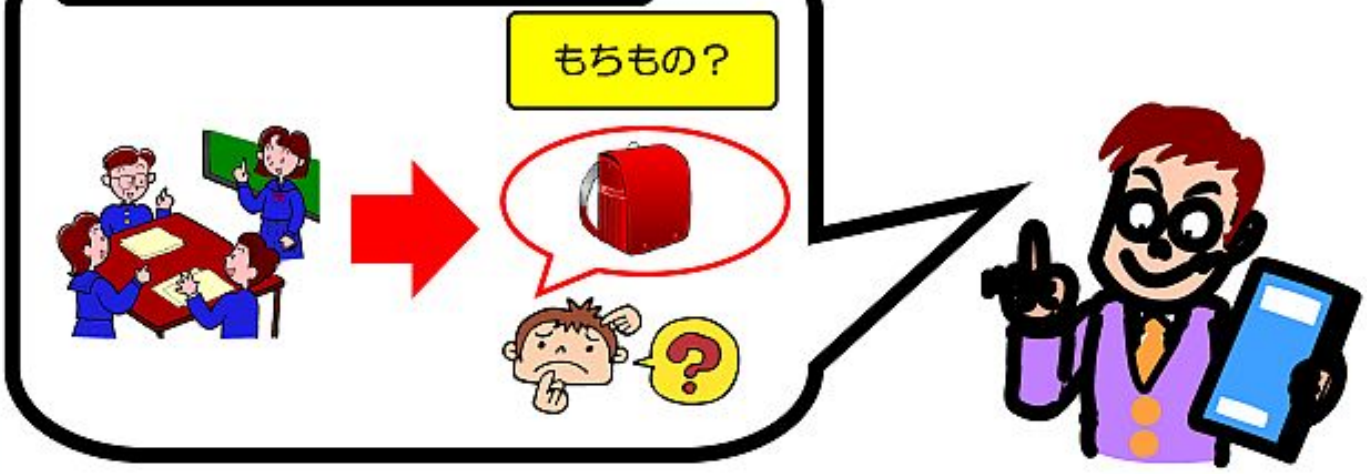
かわります。

いろ
色は，□□ です。

ちゅうがくぶ
中学部をしらべよう

６年　　組

しらべるポイント



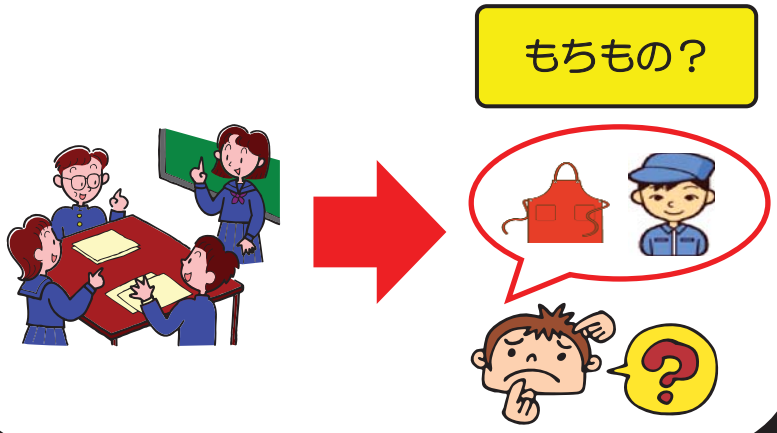
ちゅうがくせい
中学生になったら，

があります。

ちゅうがくぶ
中学部をしらべよう

６年　□　組

しらべるポイント



さぎょうがくしゅう
作業学習では，

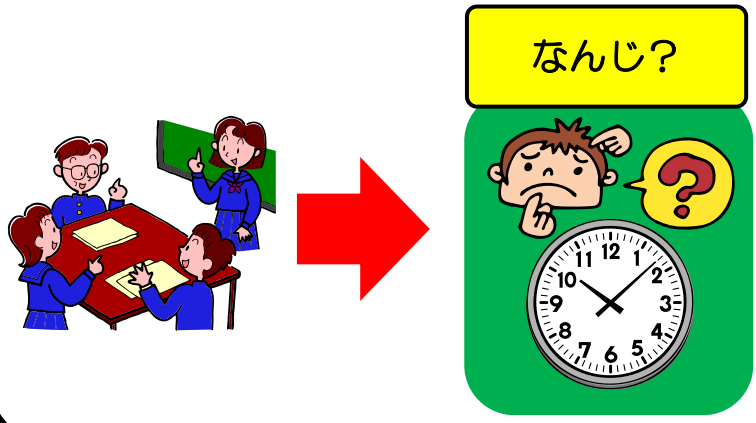
□□□□□□や

□□□□をします。

ちゅうがくぶ
中学部をしらべよう

６年　□組

しらべるポイント



じかんめ
５時間目は，

□□時　□□分にはじまります。

じかんめ
６時間目は，

□□時　□□分におわります。

身だしなみクイズ

1 身だしなみクイズ

手をあらう

① ハンカチでふく

② ふかない

せいかいです

ハンカチは、とてもやくにたちます！！
これからは、ハンカチをいつももつようにしましょう。

次の問題へ

ざんねん

ハンカチは、とても**やくにたちます**よ！！
もういちど、チャレンジ！！

問題にもどる

2 身だしなみクイズ

ねぐせ

① ブラシでなおす

○

② なおさない

×

せいかいです

ねぐせをなおすことは，とてもたいせつなエチケットです！
まいあさ，かくにんをしましょう！！

次の問題へ

ざんねん

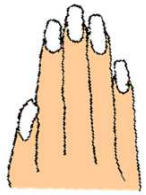
×

ねぐせがたっていたら，**はずかしい**ですよ！！
せんせいにきいてみましょう！
もういちど，チャレンジ！！

問題にもどる

3 身だしなみクイズ

つめがながい

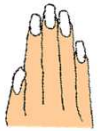


① つめをきる

○

② つめをきらない

×

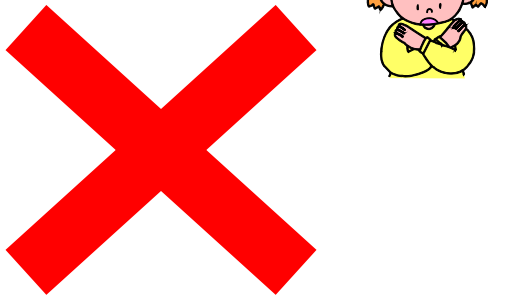


せいかいです

つめをきることは，とてもたいせつなエチケットです！
のびてきたら，きるようにしましょう！！

次へ

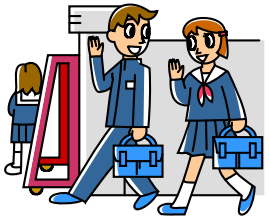
ざんねん



つめがのびていたら，あぶないですよ！！
おともだちを，ひっかいてしまいます。
もういちど，チャレンジ！！

問題にもどる

もうすぐ中学生です



すてきな中学生になれるように，

身だしなみに，きをつけましょう！

身だしなみチェックリスト

名前（なまえ）

身だしなみをチェックしよう！

〇つめのながさ・・・①ゆびさきよりでていない「〇」

②ゆびさきよりでている「×」

〇ねぐせ・・・・・・①たっていない「〇」

②たっている「×」

〇はんかち・・・・・①もっている「〇」

②もっていない「×」

がつ／にち					
①つめ					
②ねぐせ					
③はんかち					

７つのことば
～ばめんにおうじたつかいかた～

こんなとき　なんていうの　～その１～

こんなとき　なんていうの　～その２～

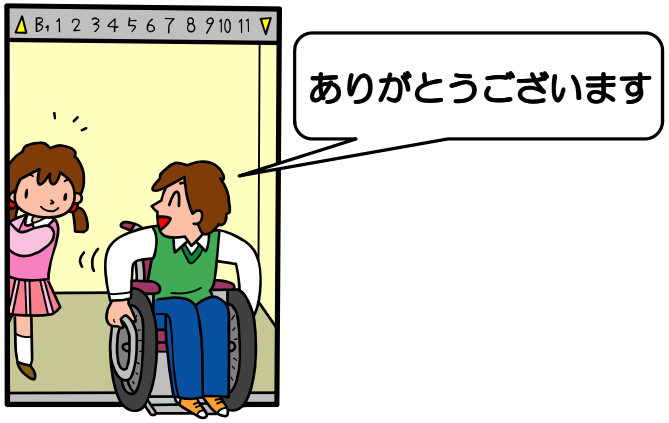
こんなとき　なんていうの　～その３～

こんなとき　なんていうの　～その４～

こんなとき　なんていうの　～その５～

こんなとき　なんていうの　～その６～

こんなとき　なんていうの　～その７～



参考教材

ー　働くことについて知ろう　ー

（ワークシート）

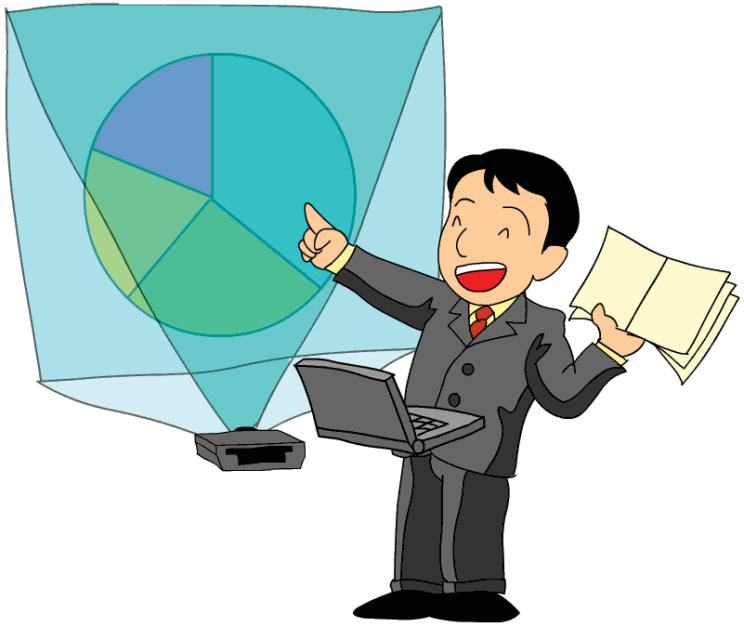
インタビューシート

しつもん

こたえ

参考教材

― 職員研修用資料 ―



明日から実践！！

～ キャリア発達を促す学習指導 ～

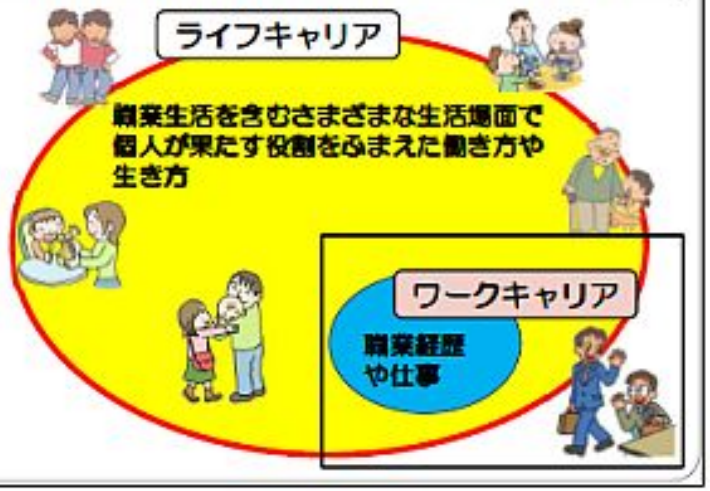
『キャリア』って，なぁに？

『キャリア』とは

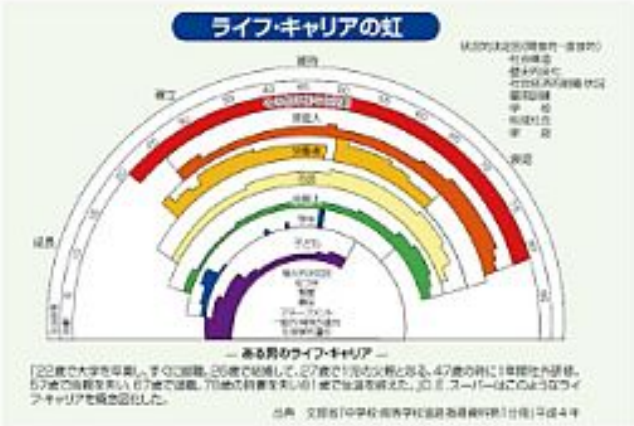
人が，生涯の中で様々な役割を果たす過程で，自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく**連なり**や**積み重ね**

（中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」より）

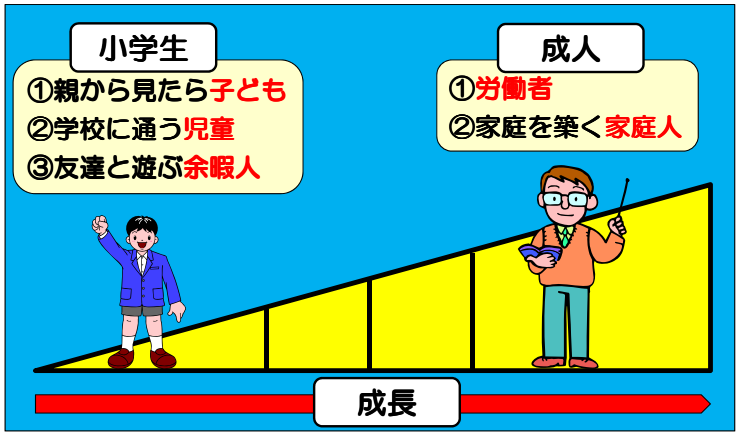
『ライフキャリア』　と『ワークキャリア』



「キャリアとは人生におけるさまざまな役割の連続である」 by　D.Eスーパー



たとえば・・・



（図：小学生から成人への成長イメージ）

『キャリア教育』とは

若者の離職やニート，フリーターなどの問題の顕在化（バブル経済の崩壊後）

↓

平成１１年以降

「児童生徒一人一人の勤労観，職業観を育てる教育」

↓

平成23年

『キャリア教育』の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して，キャリア発達を促す教育

（中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」より）

『キャリア発達』って，なぁに？

『キャリア発達』の定義

社会の中で自分の役割を果たしながら，自分らしい生き方を実現していく過程

（中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」より）

『キャリア教育』の定義

一人一人の社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を育てることを通して，キャリア発達を促す教育

（中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」より）

↓

特別支援教育では

児童生徒が学習上や生活上の経験を自ら意味づけ，価値づけし，方向づけできるようにする「一人ひとりのキャリア発達を支援する教育」

（「実践キャリア教育の教科書」より）

経験を自ら意味づけ，価値づけし，方向づけする

↓

教師が児童生徒に対して教え込むものではない

↓

学習上・生活上経験したことについて，「振り返り」をとおして言語化や文字化することにより，自分なりに意味づけ・価値づけ・重みづけ・方向づけていくことが重視され，支援によってその変化・発達を促す

（「実践キャリア教育の教科書」より）

キャリア発達を促す学習指導とは

『キャリア発達を促す視点』

国立教育政策研究所生徒指導センターでは，「職業観・勤労観をはぐくむ学習プログラムの枠組み（例）」を開発し，キャリア発達を促す視点に立って，将来自立した人として生きていくために必要な具体的な能力や態度を構造化し，例として示した。

（文部科学省「キャリア教育の手引き」より）

具体的な能力や態度

国立教育政策研究所生徒指導研究センター

人間関係形成能力	自他の理解能力 コミュニケーション能力
情報活用能力	情報収集・探索能力 職業理解能力
将来設計能力	役割把握・認識能力 計画実行能力
意思決定能力	選択能力 課題解決能力

中央教育審議会答申
今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について

- 人間関係形成・社会形成能力
- 自己理解・自己管理能力
- 課題対応能力
- キャリアプランニング能力

教育活動全体をとおして取り組む『キャリア教育』！！

学習指導要領に基づく学習活動

『キャリア発達を促す学習指導』

学習指導

これまでの学習活動を
キャリア発達を促す視点
で見直す

なぜ　何のため？

↓

一人一人の社会的・職業的自立に向け，必要な基盤となる能力や態度を身に付ける

キャリア教育で示す『能力』は『competency（コンピテンシー）』

コンピテンシーには

「できる」「できない」といった個人の現能力だけではなく，ある課題への対処能力を意味し，「**育成**」の姿勢が含まれる。

児童生徒の願いの育成やその実現に向けた支援

- 願いの実現のためにどのように教えるか
- どのような手立てや環境の設定を工夫すべきか

教育課程改善における留意点（５つのポイント）

キャリア発達を促す学習指導（枠組み）

～　指導ガイドの作成を終えて　～

本冊子は，知的障害特別支援学校の小学部高学年におけるキャリア発達を促す学習指導のための指導ガイドです。

本指導ガイドにおける各コンテンツは，中央教育審議会答申「今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について」（平成23年1月31日）によって示されたキャリア教育の理念と，国立特別支援教育総合研究所による「特別支援教育充実のためのキャリア教育ガイドブック」に基づき，作成されています。特別支援学校に通う児童生徒の自立と社会参加に向け，日々の学習指導にご活用いただければ幸いです。なお，学習指導の場面で「実際に活用できる」指導ガイドを目指して作成しましたので，改善点やお気付きの点などがありましたら，下記の連絡先までお知らせください。よろしくお願いいたします。

結びに，本指導ガイドの作成にあたり，ご指導くださいました奥岡智博指導主事，藤森幸子指導主事，小沼浩幸指導主事，園山和彦指導主事に心より感謝申し上げます。指導ガイドの作成においていただいた多くの「ことば」は，私が指導ガイドの完成を目指して取り組む上で，とても大きな励ましであり，力となりました。いただいたご指導を胸に，今後の教師生活においても課題意識を絶えず持ち続け，自己研鑽を更に積んでいく所存です。本当にありがとうございました。

参考文献

- 文部科学省　「小学校キャリア教育の手引き＜改訂版＞」　平成21年6月
- 文部科学省国立教育政策研究所生徒指導・進路指導研究センター
  「キャリア発達にかかわる諸能力の育成に関する調査研究報告書」　平成23年3月
- 国立特別支援教育総合研究所　「特別支援教育充実のためのキャリア教育ガイドブック」ジアース教育新社　平成23年1月
- 全国特別支援学校知的障害教育校長会　「特別支援教育のためのキャリア教育の手引き」ジアース教育新社　平成22年3月
- 菊地一文著　「実践キャリア教育の教科書」学研教育出版　平成25年9月
- 愛媛大学教育学部附属特別支援学校著　「将来の『働く生活』を実現する教育」明治図書　平成23年2月

キャリア発達を促す学習指導のための－小学部高学年に向けた－指導ガイド
～生活単元学習編～　（平成26年3月24日作成）

作成者　茨城県立鹿島特別支援学校
教諭　菊池　智
（kikuti.satosi@mail.ibk.ed.jp）